

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力	
分野別方針	(4) ふるさと教育の推進		実施計画事業	1) ふるさと教育推進事業(No.37)	
予算等事業名	伝統芸能保存事業				
目的	町指定文化財の管理運営を補助するなど、町の文化財保護の推進を図るとともに、歴史や文化財を町民に広く周知し、文化財保護の思想を高め、町を愛する心を養う。				
内容	郷土に伝わる芸能を広く町民に知っていただき、その保存と育成を目指し、大会の開催や団体の育成をはかる。				
根拠法令・条例等	文化財保護法 文化財保護条例				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	民俗芸能団体への支援、民俗芸能のつどいの実施(H25は中止)				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
前期(27年度)目標値	単位:		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	民俗芸能のつどいの実施状況、民俗芸能団体への支援	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		618	615				
財源内訳	一般財源	618	615				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 伝統文化を継承していく支援を行うため、公費を投入するのは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 民俗芸能のつどいは、民俗芸能保存会連絡協議会との共催で実施している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 民俗芸能のつどいが日頃の成果発表の場となり、活動の励みとなっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに一定の成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 伝統芸能の継承のため、継続して実施する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	今後も民俗芸能保存会への支援、協力・連携体制を深めていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町の伝統芸能の保存、育成は町が団体を支援して行くことが必要である。		
今後の方向性	今後も継続して行く。		